

旧植田家住宅の灯笼に灯りを灯すイベント

# うえまつ とうろう ひ 植松灯笼の日



## & 夜間開館

2015年 5月9日(土)

18時30分～20時30分(入館は20時まで)  
※19時～点灯予定

入館  
無料

※開催時間中のみ

八尾市指定文化財  
安中新田会所跡 旧植田家住宅  
(八尾市植松町1-1-25)

お問い合わせ:072-992-5311



- ◎ JR大和路線「八尾」駅下車 南出口より東へ徒歩約3分
- ◎ 近鉄大阪線「八尾」駅から近鉄バス藤井寺駅前行 JR八尾駅前バス停下車 南東へ徒歩約6分
- ※当施設には駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。

灯笼の点灯中は南門を開けますが、  
入場は正門(西側)からのみとなります。



### ◇「金毘羅灯笼」について

常夜燈として夜道の安全を守り、人々に親しまれてきた灯笼で、かつては植松村の東口にあったものといわれ、のちに奈良街道沿いの仲之町(現在の植松6丁目)にあったものが、現在、旧植田家住宅の庭に移設されている。

灯笼の一番上の笠の部分は檜形をしており、灯りをともす火袋の台になる中台には「金毘羅大権現」、柱の部分の竿には「常夜燈」、「寛政十一年己未歳十月吉日」、「発起人 絹屋佐兵衛」の文字がある。

この灯笼が、寛政11年(1799)に、金毘羅宮(香川県仲多度郡琴平町)に参拝した記念に建てられたことがわかる。江戸時代は、自由に旅に出ることができなかったが、寺社の参拝なら許され、金毘羅参りや伊勢神宮へのおかげ参りが盛んに行なわれた。江戸時代の人々の信仰を考える上でも、貴重な文化財である。(「金毘羅灯笼」解説板より)